



日刊 労働千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(宅) 043 (222) 7207 番
98.3.19 No. 4754.

許すな！国労組合員1900人 日貨労・革マルの首切りを要求

マシスト労組「日貨労解体、
貨物・ベアゼロ攻撃粉砕へ」
九八春闘に総決起しよう！

組織的崩壊の危機にあえぐJ
R総連・革マルは、自らの延命
の道を求めて結託体制の維持に
汲々とし、資本・当局への命乞
いに必死だ。

その方法はただ一つ、当局に
「国労の首を切れ」とお願いし
ますますの「奴隷の忠誠」を誓
うことだ。

日貨労書記長の革マル・緒方
は、公益企業レポート二月二〇
日号のインタビューにこう答え
ている「国労組合員がまだ一九
〇〇人ほどいます・反対勢力
をどうするのか・経営陣はそ
このところを真剣に考え・そ
ういうことがあって始めてわれ
れも骨身を削ると・・・」

分割・民営化以来続いてきた
貨物労働者への犠牲の転嫁がよ
り一層激化する中、九八春闘を
前に貨物当局は「来月払う給料

さらに付け加えると、国労組合員がまだ一九〇
〇人ほどいます。「会社施策には反対」と言わせ放
置したままでは、われわれの一人相撲もいといこ
かし、やる気のない彼らに対するケジメは会社と
してキチツとつけるべきです。その結果、生じる
ことになるかもしれない穴については、われわれ
でいくらでも埋めます、今の人員で。人を増やせ、
なんてことは言いませんよ。

「誇り」がある。屈することは
恥なのだ」と、現場労働者の怒
りを知れ！日貨労打倒・九八春
闘に総決起しよう！

の資金もない」と「ベアゼロ」
を公言し、露骨な賃金抑制の姿
勢を見せている。貨物の超低額
・格差回答を打ち破ることは今
春闘の重要課題だ。

また、新フレイト二一（貨物
六千人体制合理化）の一貫とし
て構内や検修の全面的外注化が
開始され、春から夏にかけて動
乗の再改悪が提案されようと
している。

こうしたことと併せて考えれ
ば、今回の革マル・緒方発言の
意味することは明らかだ。「国
労を解体」してくれば、「賃
下げ」も「合理化」も「骨身を
削って協力する」と。

革マルより労働者は「魂」と
「誇り」がある。屈することは
恥なのだ」と、現場労働者の怒
りを知れ！日貨労打倒・九八春
闘に総決起しよう！

会社がケツク付ければ、
"穴"いくらでも埋める
公益企業レポート2/20

90マシスト損害賠償1/3も千葉 地裁

三月六日、一〇時三〇分から、
千葉地方裁判所において、「九
〇・三スト損害賠償請求事件」
の証人尋問が行なわれ、会社側
・佐々木証人（当時 千葉支社
総務部法務課長）に対する組合
側反対尋問が行なわれた。

前倒しスト以外
についても請求
反対尋問は、前回公判で会社
側が、人件費及び代替輸送にか
かったとして提出した資料や領
収書に基づいて佐々木証人に対
する尋問が行なわれた。

まず、ストが前倒しになった
ため三月一八日に業務について
社員を超勤とし、その整理簿な
どを証拠として提出してきたが、
本来存在すべき超勤整理簿が添
付されていない証拠が多数あり、
これを佐々木証人に質すと「各
現場で保存することになってい
るが、廃棄したのではないか」
と、どうゆう理由で添付しなかつ
たのか全く答えられなかった。
また、ストに伴う代替輸送に

ついて会社側は、三月一八日の
前倒しスト当日分を請求したと
主張してきた。しかし、証拠と
して提出された小湊鉄道やタク
シー会社の領収書には、三月一
九日や二一日、スト前日の一七
日の領収書などがあり、佐々木
証人もこれを追求されると「分
からない」と言ってそれ以上証
言できないという始末であつ
た。全くデタラメとしかいいよ
うがない。

集合
成田駅
改札口
10時半
会場
別途連絡
100円
100円